

平成28年能勢町議会12月定例会議報告

12月定例会議に提出された案件は、下記のとおり決定しました。

議案第60号 賛否	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
	木戸俊治 福中 満 中植昭彦 大平喜代江 山本光晴 西河 巧 大西則宏 長尾義信 中西顕治 原田健志 美谷芳昭 長尾義和 × ○ ○ ○ × ○ ○ × ○ ○ ○ 議長	
議案第61号 賛否	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
	木戸俊治 福中 満 中植昭彦 大平喜代江 山本光晴 西河 巧 大西則宏 長尾義信 中西顕治 原田健志 美谷芳昭 長尾義和 × ○ ○ ○ × ○ ○ × ○ ○ ○ 議長	
議案第65号 賛否	能勢町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定について	原案可決
	木戸俊治 福中 満 中植昭彦 大平喜代江 山本光晴 西河 巧 大西則宏 長尾義信 中西顕治 原田健志 美谷芳昭 長尾義和 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ × ○ ○ ○ 議長	
議案第73号 賛否	能勢町農業委員会委員の任命につき認定農業者等が委員の過半数を占めることを要しない場合の同意について	同意
	木戸俊治 福中 満 中植昭彦 大平喜代江 山本光晴 西河 巧 大西則宏 長尾義信 中西顕治 原田健志 美谷芳昭 長尾義和 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ × ○ ○ ○ 議長	
議会議案第6号 賛否	大阪府福祉医療助成の患者負担増に反対し、制度の拡充を求める意見書について	否決
	木戸俊治 福中 満 中植昭彦 大平喜代江 山本光晴 西河 巧 大西則宏 長尾義信 中西顕治 原田健志 美谷芳昭 長尾義和 × × × ○ × × × × ○ × × ○ 議長	

以下の案件は、全員賛成により可決・適任とされました。

- 議案第62号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
議案第63号 職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例について
議案第64号 能勢町子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について
平成29年4月から実施 ・ 対象年齢を15歳までから18歳までに引き上げ。
・ 所得制限と入院時の食事費を廃止。
議案第66号 平成28年度能勢町一般会計補正予算（第4号）
・ 豊能郡環境施設組合負担金 1710万円
・ 新学校工事による影響調査 666万円 など
議案第67号 平成28年度能勢町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
議案第68号 平成28年度能勢町介護保険特別会計補正予算（第3号）
議案第69号 平成28年度能勢町国民健康保険診療所特別会計補正予算（第2号）
議案第70号 平成28年度能勢町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）
議案第71号 平成28年度能勢町下水道事業特別会計補正予算（第1号）
議案第72号 平成28年度能勢町水道事業会計補正予算（第2号）
諮問第1号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めるについて

注：議長は、採決に加わりません。

議案第65号 反対討論

中西顕治

議案第65号 能勢町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定について

これまでの「選挙」から「市町村長による任命制」となること。そして、「農業委員」とは別個に、「農地利用最適化推進委員」が新設されたこと。

耕作する農家の声を反映させ、地域をまとめる合理的なあり方として、農業者自らが代表者を選ぶ公選制という仕組みを捨て、農業を支えてきた「選挙民主主義」を破壊することにつながる改革である。

国の「農業委員会等に関する法律の『改正』」に伴う条例改正で、2つの重大な改革が含まれているこの条例案に反対する。

平成28年能勢町議会11月会議報告

11月会議に提出された案件は、下記のとおり決定しました。

議案第56号 副町長の選任につき同意を求ることについて

賛否

東良 勝 氏

同 意

木戸俊治	福中 満	中植昭彦	大平喜代江	山本光晴	西河 巧	大西則宏	長尾義信	中西顕治	原田健志	美谷芳昭	長尾義和
○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議長

以下の案件は、全員賛成により同意されました。

議案第57号 教育長の任命につき同意を求ることについて

加堂 恵二 氏

議案第58号 公平委員会委員の選任につき同意を求ることについて

辻 紹雄 氏

議案第59号 教育委員会委員の任命につき同意を求ることについて

市村 依子 氏

注：議長は、採決に加わりません。

環境教育常任委員会報告

委員長 大西 則宏

12月16日、環境教育常任委員会を開催し、能勢小学校及び能勢中学校の現状と課題について、教育環境・通学時の安全面を中心に調査しました。

主な質疑応答は次のとおりです。

問 給食担当職員の控室について、今後どのように対応するのか。

答 給食担当職員の控室について、狭いのではないかとの指摘があった。対応としては、廊下の一部をパーテーションで仕切る、外に別の部屋を作る、既存の部屋を使用する等が考えられる。この中で、既存の部屋を活用する方法が有力ではないかと考えている。

問 不登校が増加傾向である。社会的な要因もあるが、原因を学校側が認識していないケースがあり、児童生徒と教員との認識にかなりの差がある。どのように考えているのか。

答 不登校の児童生徒については、定期的なケース会議を開催し、スクールソーシャルワーカーや教員が家庭訪問をしている。また、登校していても不登校の前兆を感じた場合には、個別にスクールカウンセラーも交えて対応している。

児童生徒と教員との認識に差があるとの指摘については、教員が児童生徒の生活、性格、思いに寄り添うことで解決できると考えている。児童生徒から信頼される教員になれるよう、教育委員会としても指導・助言をしていく。

問 長期休職教員について、根本的な原因はどこにあるのか。どのように対処するのか。

答 授業については、代替の講師で行っている。長期休職の原因として、様々な課題に対応する精神的疲労が考えられる。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの専門的な相談を行い、教育委員会としてサポートする。また、関係諸機関との連携も必要であると考えている。

問 アフタースクールの状況はどうか。教育現場とアフタースクールが連携することによって、制度導入の目的が実現されると考える。

また、アフタースクールに対応したスクールバスの運行計画があつてもよいのではないか。

答 自然学習、自然工作、野外ゲーム、サッカー、合唱、料理教室、大学生によるアフタースクールを実施している。制度導入の目的のひとつに、家庭学習の時間が短い実情をふまえ、学習習慣をつけることがある。教育現場との連携が理想だが、そこまで至っていない現状である。今後、連携を進めていきたい。

アフタースクールに対応したスクールバスの運行については、学力向上の再構築も合わせて、総合的に検討すべき課題であると認識している。

※原稿は、質問した議員の責任において作成したものです。

町民の声を代表して9人の議員が一般質問



美谷 芳昭

今回は、平成28年10月の町長選挙時に、上森町長が町民の皆さんに示した次の「公約」を今後どう実現されるのかを町長に質問した。

問 今回、争点の一つであつた「ダイオキシン類汚染物処理問題」、今後無害化に向けてのロードマップ、処理場所、処理費用の捻出はどうするのか。

答 処理場所や処理方法は、現在施設組合内で検討しており、平成29年3月から5月までに処理方法の検討を終え、保管期限の2年以内に処理終了を想定している。

処理費用は国に特別交付税を要望するが、不交付でも両町で負担して処理を終えたい。

答 実施隊は、役場の職員若しくは嘱託員を任命し、獣友会も入つて隊を

問 高齢者施策の内、特に移動支援を「特区制度」を導入して行うとなっているが、特区制度の内容と方法はどうか。

答 現行の公共交通空白地・福祉有償運送制度に気軽に民間事業者も参入した特区制度を想定している。また、運賃の一部を町が補助することも検討していく。

問 公約には無かつたが住民からの要望が高い合併浄化槽の補助制度創設と児童公園の新設は、ぜひとも早期に実行すべきだと思うが、見解は。

答 合併浄化槽の補助制度(40%補助)は平成29年4月から実施予定である。

問 獣害対策として役場に「獣害対策実施隊を編成して被害を減少させる」となっているが、どのように実行するのか。また国の交付金を活用して、鹿・猪1頭当たり8千円程度の捕獲報奨金を支払ってはどうか。

答 山林資源の活用によ

り、良好な里山環境を維持し整備を進めていく。

その一つとしてバイオ署とも連携し、きめ細やかな対応を図ることも、地域の現状を知ることで職員の資質向上につなげていく。

問 安全で安心に暮らせる地域を構築する上で、防犯カメラの設置が必要だと思うが、現状及び今後の取組みについて問う。

答 防犯カメラの設置については、犯罪解決や抑止力の向上、また行方不明者の捜索等にも効果的であり、今後28年度、29年度の2年間で15ヶ所設置していく。

問 町長選挙時の公約実現は!

町長選挙時の公約実現は!



西河 巧

- 一、地域担当職員制度
- 二、防犯カメラの設置
- 三、山林資源の活用



防犯カメラ
作動中
24h SECURITY CAMERAS

山林資源の活用

問 町域の8割を占める山林の有効活用についての今後の取組みについて問う。

答 山林資源の活用によ

り、良好な里山環境を維持し整備を進めていく。

その一つとしてバイオ署とも連携し、きめ細やかな対応を図ることも、地域の現状を知ることで職員の資質向上につなげていく。

問 安全で安心に暮らせる地域を構築する上で、防犯カメラの設置が必要だと思うが、現状及び今後の取組みについて問う。

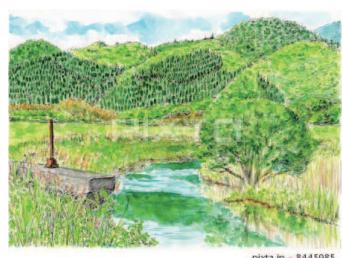
答 防犯カメラの設置については、犯罪解決や抑止力の向上、また行方不明者の捜索等にも効果的であり、今後28年度、29年度の2年間で15ヶ所設置していく。

問 地域担当職員制度と役割について問う。

答 この制度は、12月から実施し、地域ごとに3人から4人の職員を配置して、地域と行政のパイプ役として気軽に相談できる窓口となり、担当部署とも連携し、きめ細やかな対応を図ることも、地域の現状を知ることで職員の資質向上につなげていく。

問 地域担当職員の配置と役割について問う。

答 この制度は、12月から実施し、地域ごとに3人から4人の職員を配置して、地域と行政のパイ



一般質問

地域担当職員制度

問 地域担当職員の配置と役割について問う。

答 この制度は、12月から実施し、地域ごとに3人から4人の職員を配置して、地域と行政のパイ

防犯カメラの設置

問 安全で安心に暮らせる地域を構築する上で、防犯カメラの設置が必要だと思うが、現状及び今後の取組みについて問う。

答 防犯カメラの設置については、犯罪解決や抑

止力の向上、また行方不

明者の捜索等にも効果的

であり、今後28年度、29

年度の2年間で15ヶ所設

置していく。

山林資源の活用

問 町域の8割を占める山林の有効活用についての今後の取組みについて問う。

答 山林資源の活用によ

り、良好な里山環境を維持し整備を進めていく。

その一つとしてバイオ

署とも連携し、きめ細や

かな対応を図ることも、

ひとも早期に実行すべき

だと思うが、見解は。

答 ひとも早期に

※原稿は、質問した議員の責任において作成したものです。



中植 昭彦

町内移動手段（外出支援）の確保

高齢社会を迎えるに伴い、高齢者の外出を促進することの意義にますます注目が集まっている。積極的に外出することによって身体面や精神面で良い影響がもたらされ、その結果、社会的にも介護費・医療費などのコスト削減、地域活性化や消費拡大などの効果が期待されている。

【問】移動手段の確保について考えを問う。

【答】本町において高齢者をはじめとする住民の移動手段を確保していくことは、重要な政策課題であると認識している。多様なユーチューズの中で持続可能な交通システムを構築していくためには、関係事業者等との連携が必不可少である。今年度、

複数の地域で取り組まれている集落間連携組織との連携を図りながら、よりよい地域交通のあり方を検討していきたい。

スクールバスの昼間利用について考え方を問う。

【問】スクールバスの昼間利用について考え方を問う。

【答】現在、10台のスクールバスを見童生徒の登下校やクラブ活動、また、課外活動等の教育活動において活用しており、児童生徒の登校後、夕方まで定常的に運行を行っている。現時点では困難はあるが、段階的に検討していくべきものと考える。

その他、電動アシスト自転車、シニアカーの充電ステーション設置やシニアカー導入支援などについて質問した。

複数の地域で取り組まれている集落間連携組織との連携を図りながら、よりよい地域交通のあり方を検討していきたい。

【問】現在の公共交通空白地有償運送は料金が高額になる。負担軽減策についての考え方を問う。

【答】料金のこともある。現状の対策は、例えば上限料金を設定するなどの方針で検討していきた

【問】農林業従事者の減少、急激な高齢化により、農業や林業の維持・保全が危ぶまれる現状である。町長は、就任後の所信表明で農業公社設立構想を進め、地域農業の活性化に取り組みたいとの決意を表明しているが、その構想について伺う。

【問】本町の8割が山林で、荒廃が進み保全管理も大きな課題となっている。

【答】土地改良区主導の円滑化事業等により、経営規模の拡大を支援していくが、公社、公の団体等が受け皿となる組織の整備が必要と考える。

【問】本町の8割が山林で、ガス化により小規模の貸し借り等の斡旋、調整をやりたい。それには、

【答】「物産センター」がコードスである。

イネット役となり、農地

ガス化により小規模の

貸し借り等の斡旋、調

整をやりたい。それには、

【答】能勢の8割を占める

山を有効利用したい。ま

た、持ち主が、たとえわ

ずかでも山の恵みを享受

できればとの思いが

本町の農林業基盤の維持・活性化を問う



木戸 俊治

農業公社設立構想

【問】「物産センター」がコードスである。

イネット役となり、農地

ガス化により小規模の

貸し借り等の斡旋、調

整をやりたい。それには、

【答】能勢の8割を占める

山を有効利用したい。ま

た、持ち主が、たとえわ

ずかでも山の恵みを享受

できればとの思いが

【問】移動手段の確保について考えを問う。

【答】本町において高齢者をはじめとする住民の移動手段を確保していくことは、重要な政策課題であると認識している。多様なユーチューズの中で持続可能な交通システムを構築していくためには、関係事業者等との連携が必不可少である。今年度、

【問】本町の8割が山林で、荒廃が進み保全管理も大きな課題となっている。

【答】土地改良区主導の円滑化事業等により、経営規模の拡大を支援していくが、公社、公の団体等が受け皿となる組織の整備が必要と考える。

【問】本町の8割が山林で、持続可能な森林資源の利活用促進に向け、間伐材等による「小規模なバイオマス発電」の取組みを考えているが、その構想はどうのようなものか。

【答】能勢の8割を占める山を有効利用したい。また、持ち主が、たとえわずかでも山の恵みを享受できればとの思いが



大平喜代江

地域包括ケアに向けた

問 在宅医療・介護の連携強化について問う。

答 地域包括ケアの推進には、切れ目のない医療・介護サービスの提供や地域資源の活用が求められる。そのためには、地域ケア会議や協議体の設置、生活支援コーディネーターの配置等により、日ごろから顔の見える関係づくりを築くことやケアマネジャーの資質の向上が必要である。また、在宅医療のかなめである「かかりつけ医」の確保は、国保診療所と民間医療機関が連携して取り組むことが重要と考える。

在宅医療を支える訪問看護ステーションは、今後事業所の誘致を図り、在宅医療を支える体制づくりを進める。



地域ケア会議とは 地域ケア会議は、医療介護等の多職種が協働して高齢者の個別課題の解決を図るとともに、個別ケースの検討を積み重ねることにより、地域に共通した課題を明確化し、その解決に必要な資源開発や地域づくり、さらには介護保険事業計画への反映などの政策形成につなげるものである。地域ケア会議は、地域包括ケアシステムの実現に向けた重要なツールと位置づけられている。



般
箇
間

長は着手するどもは
真相の解明と問題解決に
全力で取り組む。

答 選挙公約の実現に向けての取組み、まちを活性化するためのやる気度、意気込みを問う。



長尾 義信

地域と行政との

新町長がめざす 今後の町政運営について

問 地域担当職員制度の実施について、どのように進めれるかを問う。

冬期における通学等の安全確保対策について

冬期における通学等の安全確保対策について



導入や子ども医療費助成の拡充、けやきの里周辺整備に向けた関係団体との協議に着手したところである。

う。「明日へつなげる4つのアクション」の実行に向けての優先順位を問

真相の解明と問題解決に全力で取り組む。

答 まずは、ダイオキシンの汚染物の仮置きの延長に着手するとともに、

問 選挙公約の実現に向
けての取組み、まちを活
性化するためのやる気

新町長がめざす 今後の町政運営について

問 地域担当職員制度の実施について、どのように進めらるかを問う。

冬期における通学等の安全確保対策について

冬期における通学等の安全確保対策について

※原稿は、質問した議員の責任において作成したものです。



福中 満

一、財政健全化対策 二、ダイオキシン問題 三、人口減少問題

さまざまの財政指標を見ても、本町の財政状況は極めて厳しい状況にある。本町の財政健全化に向けて、今後どのように対策を考えているか。

答 本町の財政状況については、今後も楽観視できない状況が続くものと認識している。あるお金で予算を組むということを基本に行政運営を進めたい。

今後の予算編成においては指標の改善を図るべく、経常経費の削減に向け、聖域なき事業の再編は必須となると考えているが、住民の生活を守るために、事業の改廃には十分な議論と周知期間を設ける必要があると考えている。

問 本町では、現在もなお急激な人口減少が続いている。それにより地域

財政健全化対策

ダイオキシン問題

人口減少問題



経済の縮小、子どもの数の減少、町税収入の減少等、今後さまざまな厳しい状況が懸念される。これに対しどう対策を講じていくか。

答 将来人口の推計によると、本町の人口は今後も減少傾向で推移していくことが想定されており、人口減少がもたらす地域社会への負の連鎖を防止していくかなければならぬ。こうした中で「1万人だからできるまちづくり」をテーマに掲げて、4つのアクションプランを確実に実行していきたい。

費用についても、当然国に特別交付税を要望していく。特別交付税が交付されない場合であっても施設組合単費にて処理をしていかなければならないと考えている。

問 学校跡地利用について

答 老朽化する公共施設等への対策として、さらなる選択と集中を行う必要があると認識をする。

旧学校施設は地元の意向を踏まえた上で、行政としての活用方策を検討し、限られた財源を有効に活用し、町内公共施設の適正配置に取り組んでいかなければならない。

答 ただ、規模があつて、なかなか言うほど易くなない。趣旨については、私も職員も十分理解しているので、可能なところからやつていきたいたい。

答 学校に、子供を通わせている保護者でなくして、地域住民から本当におらが村の学校という、学校に対する親近感、愛着を持たれるようにしたい。

答 そのためには、学校に対する信頼と尊敬が一番大事である。皆さんと力を合わせながら、課題を一つ一つ解決していくことによって信頼と尊敬を築いていきたい。

一、財政健全化対策 二、ダイオキシン問題 三、人口減少問題



原田 健志

一、学校跡地、利用計画 二、持続可能なまちづくり、周辺市町との広域連携 三、学校の現状と課題

問 本町では、現在もなお急激な人口減少が続いている。それにより地域

学校跡地、利用計画

持続可能なまちづくり、周辺市町との広域連携

学校の現状と課題

問 本町では、現在もなお急激な人口減少が続いている。それにより地域

学校跡地、利用計画

持続可能なまちづくり、周辺市町との広域連携

学校の現状と課題

【問】大阪府地域医療構想の実現が介護保険制度の持つ機能の中でできるとは府も考えていないと思うが、府や国に能勢町の意見を述べる機会は用意されているか。

【答】平成26年に成立した医療介護総合確保推進法の根幹は、増加する医療需要、介護需要に対して各種給付を抑制するため、高度急性期から在宅医療までの体制を整備することである。その具体化として、大阪府地域医療構想が策定された。



中西 順治

大阪府地域医療構想

【問】求められる地域包括ケアシステムは、地域ケア会議を通して個々の事情を町内全体の課題として持つ機能がある。



【答】地域包括支援センターを充実させることで、今できる一番早い道だと考える。

【答】当然、全ての人が幸福になるようにめざすのが仕事であると考える。

【問】大阪府地域医療構想の実現が介護保険制度の持つ機能の中でできるとは府も考えていないと思うが、府や国に能勢町の意見を述べる機会は用意されているか。

【答】能勢町は医療介護資源が少ないと、ますます困難がふえる。困難事例をどれだけ吸収できる制度に広げていくかというところが地域包括ケアシステムとして必要だと考えるが、現状の体制で対応できるか。

北部地区議長会 議員研修会

平成28年11月11日（金）

テーマ 「地方創生と議会の役割」

講 師 同志社大学大学院 総合政策科学研究科 教授 新川 達郎 氏

北部地区議長会は、豊能町・島本町・能勢町の3町議会で構成されています。

議会の円滑な運営と住民福祉の向上を図るために、情報交換や研修事業を行っています。

今回、「地方創生と議会の役割」をテーマに研修会を開催しました。

《講演のポイント》

総合戦略の策定にあたり議会は意見を述べる程度で、本来、積極的に各自治体の基本的な設計（総合計画との整合性など）に基づく視点で関わるべきである。

これから二元代表制の機関である議会の責務として、総合戦略が着実に進行しているか検証を行う機能を最大限に発揮していかなければならない。



豊能郡環境施設組合議会報告

組合議員 原田 健志

第5回臨時会 開催日 10月31日

承認第7号

専決処分事項の承認を求めるについて
豊能郡美化センター跡地利用対策基金条例の一部を改正する条例

不承認

承認第8号

専決処分事項の承認を求めるについて
平成28年度豊能郡環境施設組合一般会計補正予算（第3号）

廃棄物撤去業務委託・運搬業務委託・警備業務委託（歳入・前年
度繰越金）

承認第9号

専決処分事項の承認を求めるについて
平成28年度豊能郡環境施設組合一般会計補正予算「第4号」

廃棄物分析業務委託・仮置き分析業務委託・仮置き整備工事（歳
入・基金繰入金）

不承認

議案第7号

豊能郡環境施設組合監査委員の選任につき同意を求めるについて
針原 祥次氏 同意

議案第8号

豊能郡環境施設組合報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例
について

原案可決

議案第9号

平成28年度豊能郡環境施設組合一般会計補正予算（第5号）
百条委員会費用・跡地利用対策基金繰り替え充当（負担金割合・
環境汚染対策割）

原案可決

注 専決処分は不承認になつても効力に影響はないが、処分権者の政治的責任
が残るとされている。

第6回定例会 開催日 11月28日

認定第一号 平成27年度豊能郡環境施設組合一般会計歳入歳出決算の認定について

歳入合計	2億4261万9915円
歳出合計	1億8319万4827円
主な歳入 分担金 能勢町	4793万5000円
主な歳出 豊能町	1億2189万2000円
ダイオキシン対策費 委託料	1億2189万2000円
焼却施設内汚染物無害化処理委託	9650万円
焼却施設内汚染物運搬業務委託	136万800円
不認定	

猪名川上流広域ごみ処理施設組合議会報告

組合議員 美谷 芳昭

第3回定例会 開催日 11月14日

国崎クリーンセンター大会議室において開催し、議長、副議長選挙の後、
以下の案件が上程され、いずれも可決されました。

議長 岡 留美（川西市）

副議長 福井 澄榮（猪名川町）

議案

国崎クリーンセンター啓発施設の指定管理者の指定について
(株)トータルメディア開発研究所が指定管理者となる

平成28年度猪名川上流広域ごみ処理施設組合一般会計補正予算（第1回）
債務負担行為（啓発施設指定管理業務委託 平成28年度～平成33年度）

3億5022万9千円

監査委員の選任について

江並 啓（豊能町）

議員総会 11月14日開催

第3回定例会終了後、国崎クリーンセンター大会議室において開催し、
以下の事項について報告がありました。

第2期焼却施設等管理運営業務委託事業者選定について
JFEエンジニアリングが選定され、平成29年度から5ヶ年間委託契
約をする。

府内町村 正副議長研修会

平成28年11月16日(水)

府内町村の情報を共有することを目的に、これまで南部地区(田尻町)、東部地区(千早赤阪村)を視察してきました。

今回の研修は、北部地区での開催となり、能勢町の代表的な郷土芸能である「能勢淨瑠璃」と、再編整備された「能勢小学校、能勢中学校」を視察していただきました。「能勢三番叟」の実演、現在もしっかりと継承されている能勢淨瑠璃や充実した教育環境の小中学校に感激された様子でした。



表紙のことば

11月29日(火)に能勢ささゆり学園の体育館で、第1回いきいき百歳体操交流大会を行いました。300人を超える多くの方にお集まりいただき会場の体育館が満員になりました。

「いきいき百歳体操」

は平成27年秋から開始し

ちょうど1年目を迎えた。

この間、各地域で

継続した取組みがなされ

ています。

交流大会では、90歳以

上の方で継続して3ヶ月

以上「いきいき百歳体操

に取り組まれている5人

の方に、「お元気で頑張つたで賞」が町長から授与されました。

これからも体操を続け

て、住み慣れた地域で元

気にお過ごしいただきた

いと願います。

編集後記

昨年の世相を表す漢字に「金」が選ばれました。リオ五輪での「金」メダルラッシュが大盛り上がりの年がありました。

我々議員も町民の皆様とのかかわりを大切にして光り輝く明るい町づくりのために一丸となって日々取り組んでまいります。

また、今年は4年に一度の町議会議員選挙の年です。残された任期をしっかりと努めさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願いします。

広報特別委員会

委員長	長尾 義信
副委員長	中西 顕治
委員	福中 満
委員	大平 喜代江
委員	大西 則宏

電 話 七三四一〇一五一
FAX 七三四一〇一四五〇
『広報特別委員会』

までお願いします。

発行／能勢町議会

発行責任者／長尾 義和 編集／広報特別委員会 発行日／平成29年2月1日

〒563-0392 大阪府豊能郡能勢町宿野28番地

TEL (072)734-0151 FAX (072)734-2460

ホームページアドレス <http://www.town.nose.osaka.jp>